経営改善計画書（令和2年度～令和4年度）

団体名	公益社団法人　鳥取市シルバー人材センター

様式2

現状と課題	会員の拡大と受注の拡大は、センター設立以来の重要課題であり、役職員及び会員が一体となって会員と就業機会の拡大に努めている。 しかしながら、高齢者数と会員数の比率を表す本センターの組入会率（会員数／60歳以上の人口）は、令和2年度末で1.0%であり、全国平均の1.6%を下回っている。 少子高齢社会が進み労働力人口が減少する中、年金受給年齢の引き上げにより、65歳までの再雇用や定年延長又は定年制の廃止により、企業に残る高齢者が増加したため、会員の増が鈍化している。 今後、普及啓発活動を効率的に行い、会員の拡大と受注の拡大を図ることが最大の課題と考えている。
経営方針 （令和4年度目標）	会員数：702人　契約高：2億9,860万円

視点	4年度目標（期間内の最終目標）	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革（財務面での長期見通し）	自主財源の確保 ３０６，０００千円	２年度	普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数744人	目標を達成できなかった。	699人	コロナ禍の中、人と接触する啓発活動を避けながら普及啓発活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の広がりは各種事業活動の中止や、就業の中断等の影響を受けることとなり、会員数及び受託事業の実績は目標を達成することができなかった。一方で、シルバー派遣事業の需要は年々増してきており、受託事業の落ち込みをカバーすることができた。	コロナ禍により、定期的に（毎月2回）開催していた対面式の入会説明会ができなくなったことや70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされる高年齢者雇用安定法の改正が行われ、会員の確保が困難な状況に直面している中、YouTubeを利用した普及啓発活動を積極的に展開し、会員数拡大に努めています。コロナ禍の影響を受けながらも受託事業は大きく伸びています。
				契約高：受託事業263,000千円	目標を達成できなかった。	契約高：受託事業248,201千円		
				派遣事業：39,000千円	目標を達成できた。	派遣事業：47,555千円		
		３年度	普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数748人	目標を達成できなかった。	703人	コロナ禍の中、人と接触する啓発活動を避けながら普及啓発活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の広がりは各種事業活動の中止や就業の中断等の影響を受けることとなり、会員数及び受託事業の実績は目標を達成することができなかった。 シルバー派遣事業は、契約高は目標を達成できたが、令和3年度末をもって、「鳥取市南部支線バスの運行に関する人材派遣業務」が終了するため、今後の状況は不透明である。 また、「第5次注記事業基本計画」を作成し、令和4年度から5年間の目標値を新たに設定した。	
				契約高：受託事業264,000千円	目標を達成できなかった。	契約高：受託事業250,278千円		
				派遣事業：40,000千円	目標を達成できた。	派遣事業：47,967千円		
		４年度	普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数702人	目標を達成できた。	717人	新型コロナウイルス感染症は、令和5年2月中旬頃から感染者数が減り、3月13日には、マスクの着用が個人の判断とされたが、大半の期間がコロナ禍にあって、初めてYouTubeを利用した動画を配信する等、普及啓発活動を積極的に展開した結果、会員数及び受託事業の実績は、目標を達成することができた。 シルバー派遣事業の実績は、「鳥取市南部支線バスの運行に関する人材派遣業務」の終了した影響が大きく、目標を達成することができなかった。 また、令和5年10月1日から施行される適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応するため、事務費率の見直しを行った。	
				契約高：受託事業249,200千円	目標を達成できた。	契約高：受託事業259,519千円		
				派遣事業：49,400千円	目標を達成できなかった。	派遣事業：42,141千円		
組織改革（組織見直し、人材育成）	会員就業率 ９１．７％	２年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。		分野ごとの職務を遂行することができた。	理事会年8回・専門部会延べ21回・地域班連絡協議会年5回	各専門部会及び委員会とも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて活動した。	コロナ禍にあって最大限の対策を講じながら理事会及び各専門部会の開催により、円滑に運営しています。また、講習会の開催により、高齢者が安全かつ適正に就業できるよう努めています。インボイス制度の導入と影響については、全国的な動向も注視しながら理解が得られる対応を検討していく必要があります。
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回／年	技能系職種に従事する会員の育成に取り組んだ。	講習会7回／年	刈払機取り扱い、剪定作業、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。	
			労働者派遣事業を行う正規職員を配置します。		発注者と派遣就業を希望する会員とのマッチングを行い、就業機会の確保に務めた。		引き続き、専門的な知識や会員の経験を活かすことができる就業場所の確保に努める。	
			令和5年10月1日に開始されるインボイス制度への対応を検討します。		会員に周知するため、インボイス制度が及ぼす影響と課題についてセンター広報紙に掲載した。		全シ協から、対応策の進捗状況について情報提供がある中、現実的な対応策を考案し、課題解決に向けて鳥取市に財政支援を要望していく。	
		３年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。		分野ごとの職務を遂行することができた。	理事会年8回・専門部会延べ21回・地域班連絡協議会年5回	各専門部会及び委員会とも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて活動した。	
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回／年	技能系職種に従事する会員の育成に取り組んだ。	講習会7回／年	刈払機取り扱い、剪定作業、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。	
			インボイス制度への対応を検討し、準備します。		「インボイス制度に係る試算（中間報告）」を作成し、鳥取市に提出した。		インボイス制度に対応する3つの方法を検討した中間報告を作成した。令和4年度には、最終報告を取りまとめ、令和5年10月から開始される同制度に向けて、鳥取市に財政支援を要望していく。	
		４年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。		分野ごとの職務を遂行することができた。	理事装年8回・専門部装延べ22回・地域班連絡協議会年4回	各専門部会及び委員会とも新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて活動した。	
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回／年	技能系職種に従事する会員の育成に取り組んだ。	講習会8回／年	刈払機・チェーンソー取り扱い、剪定作業、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。	
			インボイス制度に向けて準備します。		インボイス制度に対応するため、事務費率の見直しを行った。 厚生労働省からインボイス制度に関する請負・委任に係る契約方法の見直し等の試案が示され、全国のシルバー人材センターに意見を求められたところから、本センターは、4項目について、意見書を提出した。	事務費率：令和5年4月から11%	インボイス制度に対応するため、令和5年4月から事務費率を10%から11%改正することを決定した。 厚生労働省からインボイス制度に関する請負・委任に係る契約方法の見直し等の試案は、全国のシルバー人材センターに意見を聴き、再調整されることになっており、今後の動向を見ていく。	
公益増進（顧客サービスの向上、社会貢献）	受注件数 ５，８２５件	２年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	ｱﾝｹｰﾄ：2回／年	目標を達成できた。	アンケート調査：2回／年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	アンケート調査の実施により、サービス向上や契約増加に努めています。また、公共施設等の清掃活動や地域班単位の少人数でのボランティア作業により、地域貢献も行っています。本市域の人手不足は慢性化しつつあり、引き続き、派遣事業の利用件数を伸ばす取り組みを進めていただきたい。
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア：2回／年	目標を達成できなかった。	ボランティア：1回／年	毎年10月に実施している「地域班合同ボランティア作業」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送ったが、「地域班単位のボランティア作業」は、各班少人数で工夫しながら実施することができた。	
			公益事業の利用者（件）数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,700件／派遣事業75件	目標を概ね達成できた。	受託事業5,428件／派遣事業72件	今後も、あらゆる機会を利用し、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。	
		３年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	ｱﾝｹｰﾄ：2回／年	目標を達成できた。	アンケート調査：2回／年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア：2回／年	目標を達成できなかった。	ボランティア：1回／年	毎年10月に実施している「地域班合同ボランティア作業」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送ったが、「地域班単位のボランティア作業」は、各班少人数で工夫しながら実施することができた。	
			公益事業の利用者（件）数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,720件／派遣事業80件	目標を達成できなかった。	受託事業5,424件／派遣事業55件	今後も、あらゆる機会を利用し、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。	
		４年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	ｱﾝｹｰﾄ：2回／年	目標を達成できた。	アンケート調査：2回／年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア：2回／年	目標を達成できなかった。	ボランティア：1回／年	毎年10月に実施している「地域班合同ボランティア作業」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送ったが、「地域班単位のボランティア作業」は、各班少人数で工夫しながら実施することができた。	
			公益事業の利用者（件）数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,440件／派遣事業75件	目標を達成できなかった。	受託事業5,375件／派遣事業63件	今後も、あらゆる機会を利用し、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。	